

令和6年度 第2回山形県健康長寿推進協議会議事録

日時：令和7年3月24日（月）

午後1時30分～2時30分

場所：あこや会館 201 会議室

（オンライン併用）

1 報告事項

（1）山形県健康長寿推進協議会について 【資料1】

（質疑応答なし）

（2）第2次健康やまがた安心プランの進捗状況について【資料2】

＜県歯科医師会 坂田委員＞

「40歳における進行した歯周病を有する者の割合」が4ポイント近く減ったという説明があったが、これは最近の歯周病に関する周知活動などが、受診率の向上に繋がり、歯周病を有する人の割合が減ってきたのだと思う。客観的なデータはないが、そういうふうに感じている。

＜山形大学 今田委員＞

全体的にコロナの影響を受けたデータであるため、もう少し様子をみて判断した方がよい。

（3）令和6年度主要事業実施状況について【資料3】

（4）令和7年度主要事業の概要について 【資料4】

＜県医師会 粕川委員＞

米沢栄養大学の推奨商品についてもう少し説明をお願いしたい。

＜事務局＞

減塩・ベジアッププロジェクト事業の中で、「やまがた健康づくり応援企業」に健康増進活動をしていただくという枠組みがある。特にスーパーなどが提供する惣菜のうち、野菜がたくさん摂れるものを「ベジアップ商品」として県に登録し、これを米沢栄養大学の推奨品としてシールを貼付しながら販売していただくというもの。

「減塩商品」については、食品製造会社が開発し、日本高血圧学会や国立循環器病センターの認定・登録を受けた商品を県でも登録しているもの。

＜県歯科医師会 坂田委員＞

資料3の18ページ、11番「歯科医療安全管理体制推進研修会の開催」に記載されている内容が、医療安全に関するものではなく、在宅歯科医療関係の研修会に関する記載になっているようだ。

＜事務局回答＞

御指摘の通り、記載内容に誤りがある。資料を訂正する。

<県医師会 粕川委員>

「受動喫煙防止対策」について補足。今年上半期に、禁煙治療補助薬が再発売されることになったとのことなので、申し上げておく。

<米沢栄養大学 金光委員>

減塩・ベジアッププロジェクト事業に、何年も前から参加して頑張っているが、あまり効果が出ていないという点が残念。

全国的に食料品を含め物価が高騰している。(野菜などの)食品まで県民の皆さんの購入意欲が向かない。個人的な意見になるが、将来的に、健康によい活動や食品の購入にポイント制のようなメリットを設け、自然に健康になれる雰囲気を作っていけいけたらと思っている。

<県栄養士会 柿崎委員>

学校給食における減塩・ベジアップ給食について、もう少し詳しくお伺いしたい。

<事務局回答>

資料3 2ページの「教育局と連携した減塩・ベジアップ教育」については、これまでも「減塩リーフレット」や「適塩カレンダー」というような教材を通して、子どもたちに減塩の機運を高めていただくとともに、家に教材を持ち帰って、家族の方にも減塩を意識していただくという活動をしてきた。

今年度は、学校給食の献立検討会に入らせていただき、「やまがた健康作り応援企業」などから提供していただいたレシピを活用していただきながら、減塩・ベジアップ給食を米沢市内の小中学校で提供した。10月1か月間で6回ほど給食を食べていただき、子どもたちに減塩やベジアップの意識付けをしたところ。

資料4になるが、令和7年度は、別の地域で取り組みたい。また、働き世代に対しても、事業所給食の中で取り組みを進めていきたい。

<県栄養士会 柿崎委員>

若いうちからの教育になってとてもよい事業と感じた。

山形県栄養士会でも適塩・減塩の活動をしているが、遅々として進まない状況にあると思っている。「応援企業」に加え、飲食業の方にも意識改革をしていただけるような取り組みが入ってくるとよい。

もちろん、家庭での食生活は大事なので、山形県栄養士会も協力させていただきたい。

2 その他

山形大学 今田委員から、同大 Well-Being 研究所が開発した健康アプリ「Well-Being YU」について御紹介いただいた。

以 上